

平成24年(ヨ)第262号・同第318号

関西電力大飯原子力発電所3号機、4号機運転差止仮処分命令申立事件

債権者 262名

債務者 関西電力株式会社

証拠説明書

2013(平成25)年1月28日

大阪地方裁判所 第1民事部 合議係 御中

債権者ら代理人

弁護士 冠 木 克 彦

弁護士 武 村 二三夫

弁護士 大 橋 さゆり

復代理人

弁護士 高 山 巖

弁護士 瀬 戸 崇 史

弁護士 谷 次 郎

号証	標目 (原本・写しの別)	作成 年月日	作成者	立証趣旨	備考
甲158	大阪地裁平成24年(行ウ)第117号発電所運転停止命令請求事件 被告第1準備書面	写し 平成24年12月25日	国 被告 指定代理人	大飯原発差止に関する別の行政訴訟において、被告・国が提出した書面。目安時間の11秒は、安全余裕を示すものであり、「災害の防止上支障がない」基準は2.2秒であって11秒ではないことを明確に認めている(33~37頁)。 なお、国の主張の他の部分にはあたかも原告が基準地震動の設定値自体が間違っていると主張しているかのような前提で議論している部分や、段階的規制論など独自の見解が出ている。	
甲159	大飯発電所敷地内F-6破砕帯の追加調査 原子力規制委員会現地調査に伴う報告 (概要版)	写し 平成24年12月28日	関西電力株式会社	債務者が2012年12月に行った大飯原発敷地内台場浜トレンチ追加調査結果の報告。台場浜トレンチで確認された断層は約24万年前に起こった蛇紋岩中の地すべりだと主張している。	
甲160	関西電力・大飯原子力発電所敷地内破砕帯の調査に関する有識者会合第3回評価会合 大飯原子力発電所敷地内の活断層(2)	写し 2013年1月16日	東洋大学教授・渡辺満久	第3回有識者会合に提出された報告書。債務者の地滑り説に反論し、それを否定する根拠を10~14頁の図で説明。台場浜の断層は活断層だと主張している。	
甲161	大飯発電所敷地内破砕帯の評価について	写し 2013年1月16日	信州大学准教授・廣内大助	第3回有識者会合に提出された報告書。債務者の地滑り説に反論し、それを否定する根拠を12頁の図で説明。また、債務者が示した阿多鳥浜火山灰のカウント数が鉱物3000粒中にわずか0.9粒しかないため「有意ではない」として債務者の主張を否定している(8頁)。	
甲162	大飯発電所敷地内破砕帯の調査に関する有識者会合 第3回評価会合議事録	写し 2013年1月16日	原子力規制委員会	第3回有識者会合の議事録。	

甲 1 6 3 の 1	福井新聞記事 地下埋設配管に穴をあける 日本原電	写し	2012年7月10日	福井新聞社	敦賀原発の敷地内断層調査中の2012年7月に、ボーリング調査によって地下に埋設された重要配管に穴をあける事故が起こったが、幸いにも原発は停止中であった。
甲 1 6 3 の 2	福井新聞記事 線量測定モニターケーブルを誤切断 日本原電	写し	2013年1月12日	福井新聞社	敦賀原発で追加のボーリング調査準備中の2013年1月11日に、放射能測定用モニタの信号伝送ケーブルを切断する事故が起こったが、幸いにも原発は停止中だった。
甲 1 6 4	京田辺市議会意見書 大飯原発稼働を一旦停止し、敷地内の徹底した断層調査を求める意見書	写し	平成24年12月25日	京都府京田辺市議会	稼働中の大飯原発敷地内の断層調査に関し、大飯原発の運転を一旦停止してから徹底した断層調査するよう求める意見書。衆参両院議長、内閣総理大臣、経産大臣、環境大臣及び原子力規制委員会委員長宛に送付。
甲 1 6 5	第8回 地震・津波に関する意見聴取会議事録	写し	平成23年12月27日	原子力安全・保安院	天正地震による津波に関し、津波に否定的な債務者の久々子湖調査報告が説明されたことに対し(18頁)、岡村委員から批判が出されたこと(21~22頁)。
甲 1 6 6 の 1	第9回 地震・津波に関する意見聴取会議事録	写し	平成24年1月25日	原子力安全・保安院	甲166の2に書かれた委員の意見が、議事録では17頁に山本博文委員の意見として記録されている。
甲 1 6 6 の 2	地震・津波 資料9-3-1 若狭湾沿岸における天正地震による津波堆積物調査(現地調査の概要)	写し	平成24年1月10日	原子力安全・保安院	出席委員からの主な指摘事項として、「敦賀半島の突端の『猪ヶ池』でボーリングをやらないのは何故か。猪ヶ池は海水が入っていない池であり、そこで津波堆積物が出なかったら、5メートル以下の津波であったということの論証のひとつとなる。調査すべきと思う」が記述されている。

甲 1 6 7	第17回 地震・津波に関する意見聴取会 議事録	写し	平成24年6月22日	原子力安全・保安院	津波に関する猪ヶ池の調査結果についての債務者の説明に対し、それに批判的な見解が複数の委員から出されたこと(39~41頁)。また、シミュレーションの必要性が山本委員から指摘されている(18頁)。	
甲 1 6 8	日本海の未知の大地震による津波のシミュレーション：若狭湾北方沖の場合	写し	2006年10月1日	神戸大学 石橋克彦・原田智也	若狭湾の北～北北西方向沖合にある活断層による大地震が引き起こす津波に関するシミュレーション。断層長さ80kmのとき、4mを超える津波が若狭沿岸に押し寄せると結論。	